



自衛隊栃木地方協力本部

高等工科学校生徒説明で中学校訪問 ～自衛隊を総合的な学習の時間で活用してください～



歓迎のメッセージに感動する担当広報官（松尾3曹）

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）は、10月1日（火）から10月10日（木）の間、大田原地域事務所管内すべての中学校32校を、所長及び担当する広報官で訪問した。

各中学校校長及び学年主任の先生に本部長からの依頼文及び高等工科学校生徒の受験要項を渡し、理解を深めるのが目的。また、大田原地域事務所では、職場体験学習を例年20校、約80名あまり受け入れられているが、今まで以上に防災講話や教育、職場体験学習等を各中学校に活用してもらえるようにPRした。訪問を通じて、今まで職場体験の実績が無い学校から、「来年度は、希望者がいれば、職場体験学習等を依頼したい」という声も聞かれた。

大田原地域事務所は、「今後も、学校訪問を積極的に実施し、自衛隊を知ってもらうとともに、職場体験学習を通じて、自衛隊のスキルを活用してもらえるように広報を実施していく」としている。



学校訪問をする大田原地域事務所長の様子

そすいフェス2024 ～ちびっこイベントで広報展～

栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）は、10月12日（土）に烏ヶ森公園（那須塩原市）で行われた、西那須野商工会が主催する「そすいフェス2024」において東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）の支援を受け、広報展を出展した。

広報展では1/2トトラック及び1/1/2トトラック（中型トラック）の装備品展示を行い、たくさんの方ファミリーが車両の中に入ったたりしながら写真撮影を楽しんでおり、大盛況となっていた。

同イベントではスタンブラリーや小・中学生が仮装して3人一組で水汲みなどを行う障害レースの「そすいレース」が行われ、子供達はたくさんの方の応援の中でビジョビジョになりながらレースを楽しんでいた。広報展に参加した広報官の佐藤1曹は「この元気な子供達の中から未来の自衛官が誕生することを期待しています」と、広報展の手ごたえを感じていたようだ。

大田原地域事務所は、「今後も、広報イベントを通じて地域の皆様に自衛隊を身近に感じていただけるよう活動し、自衛隊への理解促進を図っていく」としている。